

オタバリの少年探偵たち

セシル・デイ＝ルイス / 作 さく わきあきこ やく 脇明子 / 訳
いわなみしよてん
 岩波書店 262p ISBN : 978-4-00-114155-9



イギリスの小さな町オタバリで、男の子ばかりの学校に通うジョージ。ある日、仲間の一人が教室の窓ガラスを割ってしまう。弁償するため、みんなで夕刊を配ったり、くつみがきをしたりしてお金を集めたが、そのお金が消えてしまった。お金を預かった仲間の疑いを晴らすため、ジョージたちは探偵局を結成して犯人さがしに乗り出す。

思い出のマーニー 上・下

ジョン・ロビンソン / 作 さく
まつのまさこ やく いわなみしよてん
 松野正子 / 訳 岩波書店 上 238p 下 226p

ISBN : 上 978-4-00-114110-8 下 978-4-00-114111-5



ひと夏の間、海辺の村の老夫婦のもとで暮らすことになったアンナ。そこで見つけた屋敷で、不思議な少女マーニーと出会う。孤独な二人は互いにひかれ合い、秘密の友達となる。ところがある日、マーニーは突然アンナの前から姿を消した。マーニーを探し求めるアンナは、しだいに彼女の思いがけない秘密を知ることになる。

おれがあいつであいつがおれで

やまなかひさし さく すぎもと え
 山中恒 / 作 杉基イクラ / 絵
かどかわしよてん
 角川書店 206p ISBN : 978-4-04-631250-1



6年生の斉藤一夫のクラスに、幼稚園で一緒だった女子、斉藤一美が転校してきた。ある日、一夫は自分の恥ずかしい過去をばらした一美をおどろかそうとして、地藏堂で体当たりしてしまう。すると、その瞬間、二人の体が入れ替わってしまった。男の体に女の心、女の体に男の心の二人の生活はとまどいの連続。元にもどる日は来るのか？